

「回覧」 学校等再編だより

～子どもたちのより良い教育環境を目指して～

第5号 令和2年9月1日 西伊豆町教育委員会

初めまして、教育長の鈴木秀輝です。

4月28日から教育長に就任しました鈴木です。清野教育長が任期を終えることから、教育委員をしていた私が引き継ぐことになりました。就任当初は、新型コロナウイルス感染予防のために休校していた園や学校の再開をどうするかという話し合いを重ねる日々でした。不要不急の外出の自粛や感染予防のための新しい生活スタイルの取り組みを学校や町の皆様が熱心に行ってくださっているおかげで、西伊豆町に於いてはこれまで事なきを得ていることに安堵しています。

さて、西伊豆町には認定こども園が2園、小学校が3校、中学校が2校あり、複式学級が小学校で1学級あります。町で補助教員を雇い主要教科の複式授業を回避していますが、これから複式学級が更に増える状況であり補助教員の確保も難しくなっています。さらに園や学校の半数が津波浸水区域にあることから、「令和3年度に2つの中学校を賀茂中学校の校舎に統合する。西伊豆中学校の跡地に津波などの災害に耐え得る校舎と園舎を建設し、令和6年度に小中一貫校と統合こども園を開設する。」という方向が昨年度までに出されました。私はこの方向の実現に努め、子どもたちが安心して生活や学びができる教育・保育環境を整備することが最大の使命だと考えています。

中学校の統合については、新入生の制服が決まるなど来年4月にスタートする準備が進んでいます。しかし、令和6年度に開校する小中一貫校の校舎と園舎の建設については、津波対策だけでなく地震による地盤の液状化対策も行うことによる費用の問題や開校年度には運動場の使用ができないという問題が出てきました。そして、この問題を解消するために、こども園を津波浸水域外の別の場所に建設することを7月の保護者説明会や文教施設整備委員会で提案しました。小中一貫校の校舎は、町や地域の防災機能も兼ね備えた施設になります。隣の園舎建設予定地をサブグラウンドとすることで開校時から外での運動が可能になり、仁科小校舎跡地に計画しているメイングラウンド整備後も低学年児童から中学生までの年齢差に配慮した使いやすさが期待できます。認定こども園については、園舎を小中一貫校近くの安全な場所に建設することで、建設費用の軽減だけでなく、小中学生との交流を可能にしながら園児の昼寝などの園の生活リズムにあった教育と保育が期待できます。

昨年度の方向とは一部変更があることを町の皆様にもご理解をいただき、子どもたちの安全とよりよい教育のための教育・保育環境の整備を進めたいと考えます。



文教で挨拶する
鈴木教育長

令和2年度4月から8月末までに実施した諸活動について

令和3年開校予定の西伊豆中学校に関する諸会議について

・統合中学校運営部会 計8回開催

内容 令和3年度から開校する西伊豆中学校の学校運営計画を町内両中学校職員がそれぞれの担当に分かれて立てています。この計画は新中学開校後のスムーズな運営と、10月以降に計画されている保護者説明会の資料として活用したいと考えています。

・中学校統合準備委員会 計4回実施

内容 本年度も賀茂中学校佐藤校長先生を委員長として、西伊豆中学校開校のための様々なことについて協議していただいています。具体的には、
・教育計画全般について ・制服について ・バス運行について
・引っ越しについて等、様々なことを細部にわたって協議しています。
今後は保護者・新入生説明会、閉校式等について協議していきます。

令和6年開校予定の小中一貫校に関する諸会議について

・小中一貫校設置準備委員会 計1回開催

内容 今年度は、賀茂小学校浅賀校長先生を委員長として、小中一貫校開校に向けて話し合っています。具体的には、
・一貫校総事業費について ・今後のスケジュールについて
等です。今後は、一貫校設置に関する基本方針や令和6年度までの具体的な活動計画等について話し合っていく予定です。

・校舎配置とプールについての保護者説明会 計2日間実施

内容 校舎建築計画を進めていく中で、開校時におけるグラウンド使用に課題が出てきたためその説明を対象保護者に行いました。具体的には、
・こども園を同一敷地内に建設した場合のメリット・デメリット
・こども園を浸水区域外の他の場所に建設した場合のメリット・デメリット
・プールを建設する・しないという選択でのメリット・デメリット
この3点について資料を基に説明をさせていただき、保護者の意見をアンケートという形で集約させていただきました。

・文教施設等整備委員会 計2回実施

内容 本年度も高井仁科区長会長を委員長に、統合に関するすべての課題について協議・承認していただいています。具体的には、
・上記にあげたすべての会議、説明会についての報告と承認
・校舎建設についての課題審議等について話し合っています。
今後は、西伊豆中開校、一貫校開校に向けての具体的な方向性や課題等について協議・承認をしていただく予定です。

採用された制服とジャージ



▼デザインポイント



爽やかな印象のネクタイ
 色と柄が響きあいで、視線を和らげ、
 「清潔感」や「丁寧さ」を演出するデザインを取り入れています。



フォーマル性を高める上下無地素材
 プレーン・スラックスを無地の素材にすることで、
 清潔感と上品さを演出しています。

▼素材仕様
 プレーン 毛織物(ポリエステル)
 スラックス 毛織物(ポリエステル)



スーツタイプ(ネクタイ着用)と夏服開襟シャツタイプ



▼デザインポイント



ぱつと華やかなエンブレオン
 襟元の裏生地にエンブレオンを施しています。
 清潔感と上品さを演出し、
 爽やかな印象を演出しています。



かわいらしい印象の小さなチェック柄
 小さなチェック柄を襟元に施しています。
 清潔感と上品さを演出し、
 爽やかな印象を演出しています。

▼素材仕様
 ブレザー 毛織物(ポリエステル)
 スカート 毛織物(ポリエステル)



ブレザータイプ(リボン着用)と夏服オーバーブラウスタイプ



※中に着る体操服は

白を基調として自由裁量とする

ウォームアップ上下とハーフパンツ

西伊豆中学校新入生及び令和6年開校予定の小中一貫校制服が決定

昨年度から協議を重ねていた西伊豆中学校新入生及び令和6年開校予定の小中一貫校の制服が決まりました。

制服は2タイプとなります。1つはズボンタイプのスーツタイプネクタイ着用、もう1つはスカートタイプのブレザータイプリボン着用となります。

以下は制服が決まるまでの主な経緯です。たくさんの方のご協力をいただきながら決定することが出来ました。ここにご報告させていただきます。

期日	内容等
R1,4月	統合全体のアンケート実施(制服等の要望事項を含む)
5月	アンケート集約(制服は保護者で決めたいという意向を確認)
9月	制服に関する保護者説明会 (展示会を実施し、そこでアンケートをとって決める方針を説明)
10月	2回目のアンケート実施(制服の詳細希望アンケート)
11月	アンケート集約。学生服(1位)・スーツタイプ(2位)、 ブレザータイプ(1位)・セーラー(2位)という希望結果を確認。
R2,1月	中学校教職員による展示サンプル選考会 (多くのタイプから2パターンに絞りこむ)
1月	保護者展示用制服サンプル(2パターン)決定
4月	再編だより4号で2タイプによる保護者展示会を開催する旨をお知らせする(対象保護者には別に開催通知を配布)
7月	文教施設等整備委員会に展示会を実施することを報告し承認 (展示会でアンケート実施した結果をもとに制服を決定する) 保護者制服見本展示会実施 (2日間実施、採用アンケートも同時に実施)
8月	文教施設等整備委員会で保護者の意向を報告し承認 (ズボンタイプはスーツタイプ、スカートタイプはブレザータイプが選ばれ、ジャージは紺をベースとした軽い材質のものが採用された)
9月	再編だより5号にて採用内容をお知らせする



中央公民館で実施した保護者見本展示会

それぞれの制服、ジャージ2タイプの中から保護者が選んだものをアンケートにて回答してもらった。